

明治大学校友会 東京都多摩支部 多摩市地域支部 紫紺



(第9号)

発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 平成 29年 6月 1日
発行人 中山 雅雄 住所 多摩市連光寺6-27-11 Tel/Fax [REDACTED]

第四回定時総会開催

5月20日(土) 10時30分より多摩情報教育センター内あゆみ(多摩市諏訪1-5-1)にて、会員17名参加のもと第4回定時総会を開催した。開会に先立ち、2月に逝去された吉原登喜子会員の「冥福を祈り黙祷をささげた。

藤川幹事長が進行を務め、岩渕支部長の「皆さんのご協力により5年目を迎えることが出来た。今定時総会も成功裏に終えることを願う」旨の挨拶に続き、「来賓の太田東一多摩支部副幹事長(町田地域支部副支部長)より、「今後の活動に当たり、①多摩支部の質を高めていきたい ②女性会員及び若手会員増員の促進 ③ウエブ活用による情報の収集と共有以上三つのお願いをしたい」旨のご挨拶を頂戴した。

その後、菊池副支部長を議長に選出し諸議案の審議が進められた。
第1号議案平成28年度活動実績報告
第2号議案平成29年度活動計画(案)
第3号議案多摩市地域支部会則改定
第4号議案役員改選
各担当者から議案の趣旨説明が行われ、全議案とも異議なく原案通り承認可決された。安波副支部長によ

る万歳三唱の後、11時35分藤川幹事長が閉会を宣した。(詳細議事録参照) その後の懇親会では和気あいあいとカラオケ、ビンゴで盛り上がり祝宴は終了した。



4・29 タケノコ狩り

2・16 歌舞伎座

2・16 東京証券取引所

2・25 京王百草園観桜会

4・30 神宮球場にて

下期活動報告

一、歌舞伎鑑賞&

東京証券取引所見学

2月16日(木)校友11名(日野地域支部2名)が、10時歌舞伎座正面に集合し、4Fの一幕見席から

《 新役員名簿 》			◎印は部長			
役職	氏名	卒年学部	役職	氏名	卒年学部	部会
支部長	中山雅雄	S37 法	幹事	鶴田勇雄	S37 法	総務
副支部長	伊東勝義	S35 商		矢場岩男	S43 商 ◎	
	鶴田勇雄	S37 法		國分 篤	S46 商	
	安波節生	S38 政経		峯岸正己	S63 工	
	菊池武信	S42 経営		伊東勝義	S35 商 ◎	
	榊つきみ	S53 商		榎田成美	S41 法	企画
幹事長	藤川忠博	S40 商		秋山隆敬	S43 法	
副幹事長	茂木有司	S43 商		須藤忠志	S48 商	
監査	今村隆正	S59 政経		上春 貴	S57 政経研究科	会計
	岩永久佳	H18ガバナンス		高橋三郎	S43 商	
顧問	岩淵義郎	S31 政経		榊つきみ	S53 商 ◎	
				寺島忠昭	S41 経営	IT
				杉山 喬	S45 工 ◎	



歌舞伎座前で

歌舞伎観劇をしました。演目は故中村勘三郎が得意とした「猿若江戸の初櫓」で、息子の勘九郎、七之助それに鴈治郎他の出演、華やかな中にも若さが溢れる素敵な舞台でした。昼食は近くの「銀乃塔」。グラタンランチとワインをいただきました。午後は茅場町の東京証券取引所の見学。ニュース映像ではよく見ますが、想像していたより大きな建物でした。かつては一千名以上の人が活気ある取引を行っていましたが、電子取引になったおかげで中に居る人数は極端に少なくなっていました。株価ボードに校友会の歓迎文字が表示され、思わず笑みを浮かべ記念写真を撮りました、楽しい見学会を終りました。

二、第8回多摩支部地域支部対抗

ディスクゴルフ大会



当支部から参加の皆さん

3月25日(土)午前10時30分より、昭和記念公園で通例の地域支部対抗、「ディスクゴルフ大会」が行われました。

春絶好のゴルフ日和のなか、15地域支部62名の参加者が熱戦を繰り広げ、団体では1位日野、2位武蔵野、3位国立、個人では1位町田の向井、2位日野の青木、3位村山の広田各氏が上位入賞されました。

4名参加した多摩市地域支部は、残念ながら第9位と不本意な成績となりましたが、場所替えた立川「良銀」での表彰式、会食に参加。来年度に向け決意も新たに楽しい1日を過ごしました。

三、タケノコ狩り

4月29日(土)晴天のもと校友8人参加し須藤農園でタケノコ狩りを

実施しました。

農園主の須藤さんから、「今年は雨が少なく例年より育ちが悪い。タケノコは見つけ次第収穫しないと竹林が荒れる。探し方は地面に少し顔を出しているのが狙い目と言われるが、多少伸びたものも美味しく食べられる。そして掘り方のコツは鍬を力任せに振らず、頭上に揚げたら重力に任せると」等のレクチャーがあり、参加者数名が代表して実体験しました。



指導農園竹林にて

終了後須藤さんのおばあちゃんのお料理に舌鼓を打ちました。4月23日付け日経新聞朝刊春欄の記事に「何気なく口にして、その香り、その歯ざわり、その滋味に驚くのが今の時期のタケノコである。新鮮そうなやつを米のとき汁でコトコトと茹でてアクを抜き、穂先を細く切って食べるのがご馳走だ。あと



特別室で豪華弁当昼食中の勝負師の面々

は若竹煮、炊き込みご飯、そうだ、バター焼きなんぞもい」と。
さて、参加の皆さん、買い求めた採り立てのタケノコ料理は如何でしたでしょうか。
今回もヤツパリ、最後の仕上げはひじり館でカラオケ会となり、喉を鳴らし応援歌斉唱し終了となりました。

四、府中競馬観戦

5月14日(日)、府中地域支部主催による「府中競馬を観戦する会」に、多摩市地域支部の校友8名で参加しました。
当日は総勢31名の紳士、淑女がドレスコードで、曇天、薫風の気持

ち良い天候のもと、午前10時正面上口前に集合しました。そして7FのVIPルームで府中地域支部中島幹事長挨拶の後、やや重の馬場状態での第3レースから戦いが始まりました。

途中、都議会議員、市議会議員の挨拶やホテルオークラの豪華昼食弁当、飲酒で盛り上がり、馬券を当てた人、紙屑となった人達の声・・・そして校友との懇親を図るグループ等、楽しいひと時を過ごしました。
戦果はマイナス、まあまあ、プラスと分かれ、プラスとなった支部長の一部奢りで、聖蹟桜ヶ丘の「海鮮市場」にて祝杯と反省会を行い帰路につきました。

五、第29回ひじり館楽唱祭

5月27日(土)多摩市「ひじり館B2ホール」で、多摩市のご自慢の皆さんが参加する「第29回ひじり館楽唱祭」が行われました。
当日は、春風に舞うひじりの歌、をテーマに、9時40分～18時00分まで21チーム104名が熱唱を繰り広げ、歌う人応援する人の熱気で会場を大いに盛り上げました。
明大校友会多摩市地域支部は(紫紺の会)から、上春貴(コモエスタ



藤川氏 安波氏 榎田氏 岩永氏 上春氏
赤坂)岩永久佳(愛人)榎田成美(再会)安波節生(北の旅人)伊東勝義(北国の春)藤川忠博(踊子)の各氏6名がマイクを握り、納得の笑顔でお役目を果たしました。また藤川さんは前回に引き続き、持ち前の美声と滑舌を持って司会の大役を無事こなしました。



今後の事業計画

参加申込は...

伊東 [redacted] まで

一、カラオケ「紫紺の会」

毎月、楽しく開催♪

日時▼原則 毎月最終週土曜日

(次回は7月29日)

15:30～18:15

場所▼ひじり館2F和室

会費▼500円

*会場予約の状況により、日時が変更になる場合は連絡します。

二、南極観測船SHIRASE&サツポロビル千葉工場見学

日時▼7月9日(日)

集合▼14:30 JR津田沼駅

*日野地域支部主催

三、江戸川競艇見学・観戦

日時▼9月16日(土)

11:30～14:00

集合▼11:00 船堀駅

会費▼2,000円

(特製ランチ付き)

*稲城地域支部と共催

四、六大学野球秋季リーグ

10月初旬開会式と

「明早戦」応援観戦

五、大宮鉄道博物館と

ゆけむり横丁温泉入浴

日時▼10月14日(土)

11:00～16:00

会費▼4,500円

*入湯料・昼食代含む

六、箱根駅伝予選会

日時▼10月21日(土)

場所▼昭和記念公園

懇親会費▼3,000円
立川「良銀」にて

七、東京競馬貴賓室席で観戦

日時▼11月25日(土) 10:00
会費▼5,000円

*昼食・飲み物付き

*男性ネクタイ&ジャケット着用

*府中地域支部主催

八、ラグビー

「明早戦」応援観戦

日時▼12月3日(日)

場所▼秩父宮ラグビー場

会費▼入場料4,000円

懇親会費4,000円

九、百草園観梅会

日時▼2月24日(日)

集合▼10:30 現地

*日野地域支部主催

十、第9回多摩支部地域支部対抗

ディスクゴルフ大会

日時▼3月24日(土)

10:30~15:30

場所▼昭和記念公園

*13時から表彰式及び懇親会

立川「ベースボール」にて

会費▼ゲーム代500円

懇親会3,000円

会員活動便り

一、紀行 エジプト旅行

茂木 有司(S43商)

今年1月下旬に7泊8日でエジプト観光旅行に行ってきました。友人に誘われて10数年ぶりの外国旅行でした。7泊のうちホテルに3泊2ホテル、クルーズ(ナイル川クルーズ3泊)、航空機内1泊で、しかもすべて食事つき(バイキング)、添乗員付きで日程的に楽だなと思っていたのですが、料理の油が体に合わないこと等で体調を崩しつらい思いもしました。

出発する前に代理店を通じ、治安に対する外務省からの注意事項もあり、家族たちの心配もありましたが無事旅行を終えることが出来ました。



メムノンの虚像

現地では添乗員に外出は控えるように注意があり、バスでの移動の際に街中では所々に装甲車が見受けられ一部の遺跡の入り口には武器を持ったガードマン(兵士には見えなかった)がいて、国内移動のバス(スーダン国境近くの遺跡アブ・シンベル)では銃を持ったガードマンが同乗しました。

エジプトの国の歳入は1番が観光で2番がスエズ運河の通行料で、人口は約9千万人、識字率は58%、義務教育ではないとのことでした(ガイドの話)。

エジプトと言えば、ピラミッドと王の墓等の遺跡が有名ですが、ギザのピラミッドは紀元前二千五百年前に建造され、平均2.5トンの石を230万個積み、基底部の石は15トンを超えるという説明でした。しかも建設方法、目的等ははつきりしていません。当時の建設技術、財力にはただ驚愕するばかりでした。その時代日本では縄文時代だそうです。エジプトは砂漠とナイル川の国で、言葉で言えば白(太陽の光と砂漠、石(建造物)、乾燥気候)と喧騒に対し日本は緑、木と清潔でしょうか。ナイル川は全体で六千キロ、エジプト国内はそのうち二千キロ(川幅400~2200m、最深おおよそ41m)。クル



ハトシェプスト女王葬祭殿

二、園芸 日誌(No.3)

森 和子(S39文)

こぼれ種

毎年古い土を捨て新しい土にしているのでない限り、植木鉢でもこぼれ種は花を咲かせます。ビオラ、忘

れな草は代表です。連光寺公園、桜が丘公園でもこぼれ種のスマレが数種類、二年草のフデリンドウも4月中旬に咲きます。

こぼれ種ではありませんがタマノカンアオイが特異な形の花を咲かせます。

秋の公園は団栗、山栗、椎の実等がたくさん落ちています。



上:タマノカンアオイ
下:キンラン

三、雑感

母校への思い、校友会への参加

上春 貴(S57院政経)

先日の出勤途上、こんなことがありました。京王線明大前で乗り換えのためプラットホームに立っていると、駅員のアナウンスと共に流れたのは聴きなじみのあるあのメロディ。そう、明治大学校歌の冒頭「白雲なびく・・・」の旋律でした。たった八拍子、二小節、ほんの四秒程度に過ぎない「白雲なびく」の部分だけのメロディですが、それだけで心の中がにわかに明るく爽やかに

なり、実は若干疲れ気味だった私も心身共にシャキッとして仕事に向かいました。―その時、私の中に「愛校心」とでも呼ぶべきものがあるとすれば、それはこんな細やかな所に原点があるのではないかと思つた次第です。

今でも思い出すのは、入学当初のフレッシュな体験。一九七三年(昭和四八年)四月初旬の入学式の朝の情景です。日本武道館に通じる千鳥ヶ淵のお堀に掛かる橋を渡り、田安門を入った突き当りに、ずらりと並んだ詰襟学生服姿のグリーククラブの先輩たち。「白雲なびく駿河台・・・」の力強いアカペラ男声合唱で、私たち新入生を出迎えてくれました。清新澗としたその歌声に、「ああ、僕は明治大学に入ったんだ」との感慨を新たにしましたものです。

いわゆる「故郷」とは文字通り出身地のことですが、母校とは卒業生にとつて自分の人生の「故郷」の様なものではないでしょうか。未だ経済的には自立できず親のスネかじりの身でありながら、心は既に一人立ちして自分の意志で自分の道を歩み始めるのが、多くの人にとつての大学時代ではないかと思ひます。

就職して社会人になり、結婚して子供を授かり、子供のためにと懸念

に働き、夫婦で力を合わせて家庭を築いていく・・・。そんな人生の喜怒哀楽の折々に、しばし振り返りつつ今の自分を確認して、また勇気と元氣を出していく。その際に欠かせない存在が、私にとつての母校、明治大学です。

人が人生の節々に、ふと故郷の山河を思い起こすように、私は時々、和泉のキャンパス、記念館でのコンサート、駿河台七号館の薄暗いゼミ室、金華公園の緑陰などを思い出します。あの頃、あの時代の快活な友人たち、励ましてくれた先輩たち、叱咤激励してくださつた学恩深き先生方、皆、愛おしく、懐かしい。

自分自身の大学時代を今、思い起こせば、恥ずかしきことばかりが浮かび上がり、「わが青春に悔いなし」と自信をもつては言えないと自覚しています。母校の思い出は故郷の父母の思い出と同様に、そんな今の自分の心を洗い清めてくれます。

縁あつて校友会の活動に参加させていたたく私としては、諸先輩の人生へのリスペクトを忘れず、母校明治大学への共通の思い、共感を大切に、明るく楽しく爽やかな活動を旨として、ささやかにでも貢献できればと思つています。

<平成28年度会費受領会員>

🌸ありがとうございました🌸

<ご寄付>

相澤慶太	大澤 義文	坂井 靖三	須藤 忠志	寺岡 安理	野村 光芳	茂木 有司
秋山 隆敬	大田原 次清	榎つきみ	諏訪本 充弘	寺島 忠昭	福地 登	森 和子
有泉 俊夫	岡 等	坂口 直	関 道定	中川 政信	藤川 忠博	安波 節生
飯塚 貴哉	岡崎 軍三	坂本 康彦	芹沢 壮光	長嶋 彰	藤川 道子	矢場 岩男
石場 和夫	菅野三津男	嶋原 昭夫	平樂 直樹	長島 守男	藤原 輝雄	山口 和英
伊東 勝義	菊田 正俊	島崎 昭	高橋 三郎	仲野 道子	松澤 節夫	山崎 直人
今村 隆正	菊池 武信	新城 敏男	高山 千佳歳	中山 雅雄	松瀬 貢規	山下 憲男
岩永 久佳	清井 敏秀	菅井 美沙子	田所 利之	中山 厲介	松本 邦彦	山田 隆英
岩渕 義郎	熊谷 和彦	杉田 誠	谷 幸雄	鍋田 正直	松本 洋一	山田 成明
上春 貴	小金 忠男	杉田 正男	塚本 一雄	西川 克子	萬井 正己	横山 成明
榎田 成美	國分 篤	杉山 喬	土田 充	野村 文夫	村木 繁之	吉原 登喜子
大倉 徹	小竹 唯夫	鈴木 一巳	鶴田 勇雄	野村 希介	室田 修	和田 國修

(五十音順・敬称略)

秋山隆敬	伊東勝義	岩渕義郎	菊池武信	菅井美沙子	杉山 喬	須藤忠志	鶴田勇雄	中山雅雄	藤川忠博	矢場岩男
------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

趣味

一、水彩画を描くシリーズ⑥

中山 雅雄(S37法)

水彩画の仲間と八ヶ岳麓にスケッチ旅行での作品です。

秋真つ盛り、湖水に架かった鉄橋と澄んだ湖水を描きました。素晴らしい紅葉の山並みでした。



秋真つ盛り

二、墨絵を描く シリーズ②

榎田 成美(S41法)

私は、樹木が好きである。特に年老いた樹は、何百年も太地に根をおろし、立ちつくし様々な時代を見、懸命に生きてきたのかと思うと、そつと抱きしめてあげたくなる。ここに描いた樹は楠である。その古い幹



樹魂

は朽ちつつ、必死で生きようとしているし哀れだが、たのしくもある。その底力のようなものを描きたかった。

同好会立ち上げについて

現在、同好会立ち上げを計画しています。会費五百円程度で、次のような案が出ています。ぜひ会員の皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。ウオーキング・ボーリング 麻雀・将棋・囲碁・他

お問い合わせは…

榎田(うめだ)

まで

会員ギャラリー
自慢の一葉⑨



①残雪の槍ヶ岳 (南岳)

撮影者 鶴田 勇雄(S37法)



② 大物ゲット(大栗川)

撮影者 矢場 岩男(S43商)

会員の動静

(順不同・敬称略)

入会者 なし
退会者 吉原登喜子氏が逝去されました。衷心よりお悔やみ申し上げます。

残念ながら次の3名の方が体調不良のため退会されました。

塚本一雄(S34法)岡本重三(S36政経) 長島守男(S33法)

お詫び 紫紺8号におきまして入会者浅沼紀雅氏(S36法)のお名前を浅野紀雅と間違いましたことお詫びして訂正させていただきます。会員数89名(平成29年5月現在) 会員相互の動静もお知らせください。

会費納入のお願い

未納の方は、同封の振込用紙にてお支払いをお願いいたします。

編集後記

・今年の天候はあまりに不安定で、気温、気圧とも乱高下が激しい。「衣替え」は必要？ 季節はいつ？
・「紫紺」へ多数の投稿を！
・ホームページでは、活動記録を随時更新しています。「明治大学 多摩市地域支部」で検索を！